

【選択講習⑦】

平成 29 年 8 月 4 日（金）

学校教育における防災減災意識の向上と取組み

（幼・小・中・高・特教員対象：定員 50 名）

| 時 間 | 内 容 | 講 師 |
|-----------------------|--|---------------------------|
| 9：20～9：30 (10分) | ガイダンス | やました ゆうすけ 山下 裕介 |
| 9:30～10:30 (60分) | リスクマネジメントとリスクコミュニケーション —地域共同体の防災・減災活動— | 山下 裕介 |
| | リスクマネジメントやリスクコミュニケーション、あるいは防災や減災について、地域共同体（地域社会）との関係性から考えていく。学校は地域社会の一員として、同じ共同体に属する各利害関係者（ステークホルダー）との間に、どのような関係性を構築していくべきであるのか。自主的な防災・減災活動と、地域共同体の文化・価値観との関係の基礎を学ぶ。 | |
| 休憩（10分） | | |
| 10:40～11:40 (60分) | 学校安全と危機管理の重要性 | いなば しげる 稲葉 茂 |
| | 学校安全は児童生徒が自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全を確保するための環境を整えることの重要性を学ぶ。 | |
| 昼休み（50分） | | |
| 12:30～14:20 (110分) | 実践的防災教育における災害図上訓練演習 | 稲葉 茂 とみざわ ひろみ 富澤 廣三 |
| | 児童生徒一人一人の発達の段階、障害の状態に応じて避難や避難のための支援が大切な課題である。音に敏感な子ども、通常と異なる状況を理解できない子どもなど反応は様々である。避難訓練を通してそれらを見極めておき、非常時に備えることが重要であると、図上訓練を通じて再確認をする。 | |
| 休憩（10分） | | |
| 14:30～16:20 (110分) | 災害時における避難所設営訓練演習 | 稲葉 茂 富澤 廣三 |
| | 東日本大震災の教訓を踏まえ、避難所の設営訓練を通じて避難所としての学校施設の使い方や施設管理者として避難所の円滑な運営方策を学ぶ。 | |
| 16:20～16:40 (20分) | テスト | 山下 裕介 |
| 16:40～16:50 (10分) | アンケート | 山下 裕介 |